

令和2年度 校内研究計画

- 1 研究主題 自ら考え 互いに学び合い 考えを深める ときわっ子の育成
～ 生活科・総合的な学習における郷土学習を通して ～

2 主題設定の理由

昨年度、本校では、生活科や総合的な学習の目標を意識した授業実践をもとに、生活科（105時間）と総合的な学習（70時間）の標準時間数内での年間学習指導計画の見直しと作成を行い、全体授業研とグループ研では、講師招聘による学習指導案の検討と授業研究会を行った。そして、理論研究並びに授業実践を重ねる中で、来年度からの新学習指導要領の完全実施に向け、主に以下の3つのことに取り組む必要があることが明らかになった。

○生活科及び総合的な学習の教科経営案及び全体計画、指導方法及び内容の見直し

- ・資質・能力の3つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）に基づいた目標や内容を踏まえた「ときわタイム（総合的な学習の時間）」の全体計画の見直し
- ・課題の設定⇒情報の収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現の探究する学びを実現させるための指導方法及び内容の見直し（各学習過程ごとの指導方法及び内容の確立、ICTの効果的な活用）
- ・「探究する学び」を実現するためのカリキュラムマネジメントの充実

○生活科及び総合的な学習の評価方法の見直し

- ・各学年ごとの発達段階に応じた、生活科及び総合的な学習の目標内容及び評価方法の見直し
- ・学習過程における児童の自己評価及び他者評価の位置づけ

○ワークシート等の引継ぎ

- ・探究する学びにおける自己の考えを整理・保存するためのファイリングの活用
- ・ワークシート等の教材及びデータの教師間の引継ぎ

本校にとって、生活科及び総合的な学習を中心にした各学年ごとの様々な体験及び交流活動の充実を図ることは、学校課題の1つでもある。したがって、今年度の校内研究では、昨年度の研究の成果と課題をもとに、これからの本校教育活動を考える機会としたい。

そこで、今年度は学校全体として児童に身に付けたい力を明確にし、地域の人たちやその対象との積極的な関わりが行われるような手立てのあり方について研究を深めたい。本校が取り組む体験活動の場は、学校だけでなく、児童が実際に生活をする家庭や地域の中にたくさんある。また、その体験は、様々な人・もの・こととの関わりを有し、必然的な交流（コミュニケーション）の場が創り出される。このような体験活動や交流活動の中で、子ども達は、地域に関わる課題を積極的に見出し、その課題解決を通して、地域に誇りと愛着を持ち、そこから自分たちにできることを見つけ、働きかけようとする態度を育んでいきたいと考える。

以上のことから、生活科及び総合的な学習の時間を中心に郷土学習を設定し、地

域との関わりの中で、子ども達が主体的に探究的な学習を行うことにより、自ら考え、互いに学び合い、考える児童の育成をめざし、本主題を設定した。

3 研究の目標

身の回りの生活や地域を素材とし、体験活動及び交流活動を通して身に付けたい力を育む郷土学習の在り方を探る。

※「体験活動」とは、見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの活動を通して対象に働きかける活動のことである。

※「交流活動」とは、体験活動の楽しさやそこで気づいたことなどを言葉、絵、動作、劇などによって表現し、感想などを交流し合う活動のことである。また、課題解決のために情報を集めたり、調べて分かったことや考えたことを友達や地域の人たちに分かりやすく表現したりして、感想などを交流し合う活動のことである。

※「郷土学習」とは、橘町の人・もの・ことに「ふれる」「知る」「働きかける」「ふり返る」学習のことである。

4 研究の仮説

生活科や総合的な学習の時間における橘町の人・もの・ことに「ふれる」「知る」「働きかける」「ふり返る」学習（郷土学習）の中で、①意図的・計画的に体験や交流活動を仕組み、また、②自分の学び方や成長をふり返る場を仕組み、めざす児童の育成ができるだろう。

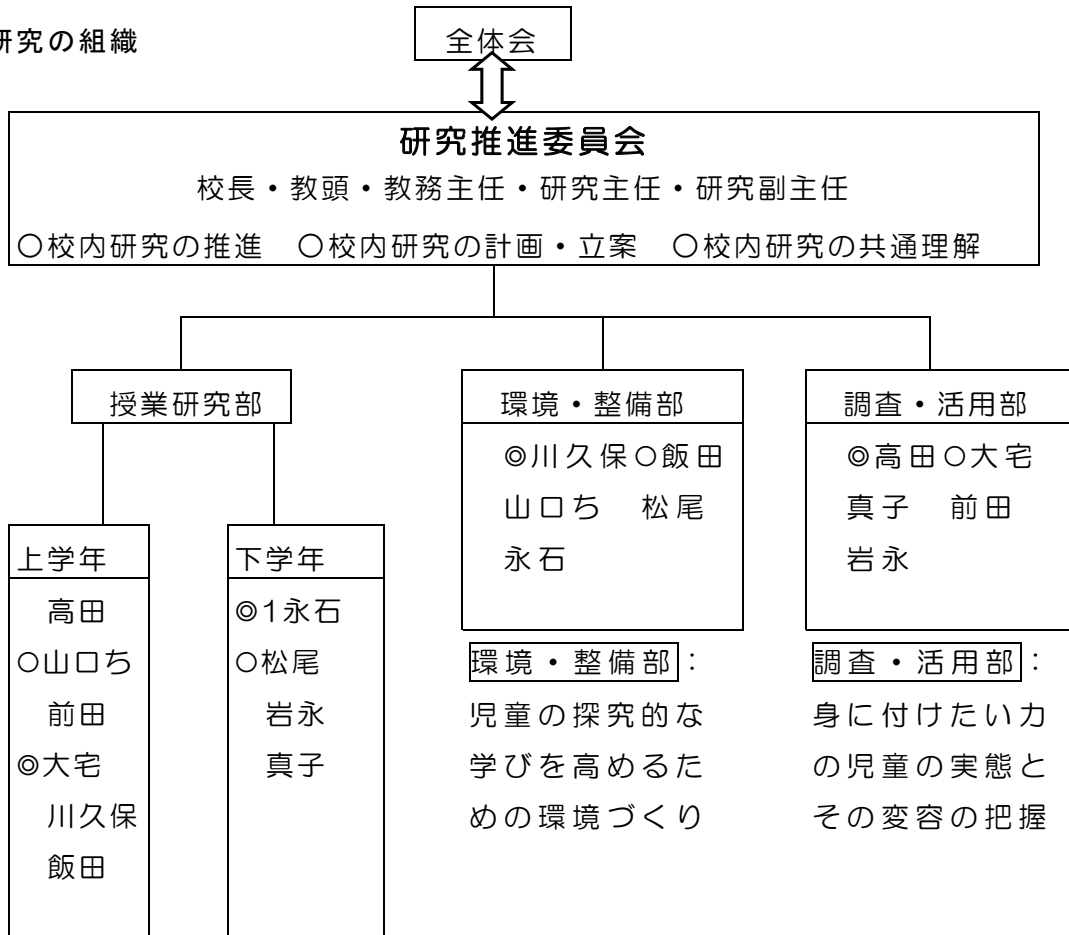
5 研究の内容

- ① 地域の人・もの・ことを素材とした生活科・総合的な学習の単元開発
 - ア 「ふれる・つかむ」「むかう・まとめる」「ひろげ・ふり返る」の学習過程の工夫
 - イ 地域の人・もの・ことを生かした体験及び交流活動の場の設定の工夫
 - ウ 情報活用能力の育成を意識した授業の工夫
 - エ 学びの主体性を高めていくための児童の自己評価及び他者評価の工夫
- ② 郷土学習を核とした生活科・総合的な学習の年間指導計画の作成
 - ア 郷土学習において育成したい資質・能力の設定と評価の位置づけ
 - イ 他教科との内容的関連の工夫

6 研究の方法

- ① 児童の実態把握（身に付けたい3つの資質・能力の変容など）
- ② 授業研究会による実践研究
- ③ 先進校視察及び講師招聘による理論研究

7 研究の組織



8 研究の計画

| 月 | 研究の内容 | 月 | 研究の内容 |
|---|--|----|---------------------------------------|
| 4 | 全体研究会…全体計画立案 研究主題・研究内容・研究組織等 断続研修会開始(ICTスキルアップ) | 10 | グループ研 指導案検討会及び授業研究会③ 断続研 |
| 5 | 全体研究会, 専門部会 ICT利活用 橘スタイル確認 断続研 指導案検討会及び授業研究会① | 11 | 全体研究会④ ⑤ グループ研 ⑥ 専門部会 |
| 6 | 専門部会 断続研 | 12 | グループ研, 専門部会 全体会 ※ICTオープンデー |
| 7 | 断続研 指導案検討会及び授業研究会② | 1 | 専門部会…研究のまとめ作成 |
| 8 | 全体研究会 専門部会 断続研 講師による講話 | 2 | 研究のまとめ 研究冊子作成 |
| | | 3 | 全体研究会…一年間の反省 今年度の取り組みについて 次年度構想 |
| 9 | グループ研・専門部会 断続研 | | |

